

# 貸 借 対 照 表

(令和 7 年 8 月 31 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>2,994,078</b>	<b>流動負債</b>	<b>856,095</b>
現金及び預金	1,068,493	買掛金	163,680
売掛金	326,505	未払金	47,645
契約資産	77,800	未払費用	287,319
仕掛品	243,024	未払法人税等	70,361
前払費用	22,396	未払消費税	73,683
関係会社短期貸付金	1,250,000	賞与引当金	149,428
その他	5,858	その他	63,976
<b>固定資産</b>	<b>257,294</b>		
<b>有形固定資産</b>	<b>112,930</b>	<b>負債合計</b>	<b>856,095</b>
建物附属設備	74,022	<b>(純資産の部)</b>	
工具、器具及び備品	83,773	<b>株主資本</b>	<b>2,395,277</b>
リース資産	2,232	資本金	25,000
一括償却資産	82,891	資本剰余金	14,280
減価償却累計額	△129,988	その他資本剰余金	14,280
<b>無形固定資産</b>	<b>106</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>2,355,997</b>
ソフトウェア	106	その他利益剰余金	2,355,997
<b>投資その他の資産</b>	<b>144,257</b>	繰越利益剰余金	2,355,997
敷金	82,651	(うち当期純利益)	(299,554)
繰延税金資産	59,869		
その他	1,736	<b>純資産合計</b>	<b>2,395,277</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,251,373</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,251,373</b>

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

## 【個別注記表】

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

仕掛品・・・個別原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定しております）

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…………… 定率法

（ただし建物附属設備については定額法を採用しております）

無形固定資産…………… 定額法

長期前払費用…………… 定額法

#### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金…………… 債権の貸倒れによる損失の発生に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金…………… 従業員賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち、当該事業年度に負担すべき金額を計上しております。

#### (4) 収益及び費用の計上基準

ソリューション事業においては、ソフトウェア開発・システム開発及び保守サービスの提供を行っております。ソフトウェア開発・システム開発に係る収益は、支配が顧客に移転した時に認識しており、原則として顧客の納品確認に基づき一時点で認識しております。

ソリューション及びソフトウェア開発事業における一部の契約については、顧客との役務提供契約に基づいてサービスを提供する履行義務を負っております。当該履行義務は、サービス提供が完了する時点において、顧客が当該サービスに対する支配を獲得して充足されると判断し、提供完了時点で収益を認識しております。

保守サービスの提供に係る収益は、主にソフトウェア等の保守であり、顧客との保守契約に基づいて保守サービスを提供する履行義務を負っております。当該保守契約は、一定の期間にわたり充足される履行義務であり、履行義務の充足に応じて収益を認識しております。

#### (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …… 税抜方式によるおります。